

JIS

プラスチック—耐衝撃性ポリスチレン

(PS-I)成形用及び押出用材料—

第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方

JIS K 6926-2 : 1997

(ISO 2897-2 : 1994)

平成 9 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS K 6871 : 1995は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、国際規格に整合させるために、ISO 2897-2 : 1994を基礎として用いた。

JIS K 6926-2 : 1997には、次に示す附属書がある。

附属書(規定) ポリスチレン試験方法

参考 附属書は、従来のJIS K 6871 : 1995と一致しており、国際規格を日本工業規格に導入するための経過措置として添付する。

JIS K 6926 : 1997は、一般名称を“プラスチック—耐衝撃性ポリスチレン(PS-I)成形用及び押出用材料”として、次の各部によって構成する。

第1部：呼び方

(Part 1 : Designation system and basis for specifications)

第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方

(Part 2 : Preparation of test specimens and determination of properties)

日本工業規格

JIS

プラスチック—耐衝撃性ポリスチレン (PS-I) K 6926-2 : 1997 成形用及び押出用材料— (ISO 2897-2 : 1994)

第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方

正 誤 票

ページ	位置	誤	正
4	表3のメルトマスフローレート(MFR)の試験条件及び補足説明	試験温度 220 °C	試験温度 200 °C

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課(☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)にご連絡ください。

1999.1 日本規格協会 発行

原案作成協力者：日本ノブスナツク工業連盟

審議部会：日本工業標準調査会 化学部会 (部会長 三田 達)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課(☎100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

プラスチック—耐衝撃性ポリスチレン K 6926-2 : 1997
(PS-I) 成形用及び押出用材料— (ISO 2897-2 : 1994)

第2部：試験片の作り方及び諸性質の求め方

Plastics—Impact-resistant polystyrene (PS-I) moulding and extrusion materials—
Part 2 : Preparation of test specimens and determination of properties

序文 この規格は、1994年に第2版として発行されたISO 2897-2, Plastics—Impact-resistant polystyrene (PS-I) moulding and extrusion materials—Part 2 : Preparation of test specimens and determination of propertiesを元に作成した日本工業規格であり、**附属書(規定)**を除いて、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成してある。

附属書(規定)には、従来、JIS K 6871 : 1995で規定していたポリスチレン試験方法について規定した。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、成形用及び押出用耐衝撃性ポリスチレン材料の試験片の作り方及び諸性質の求め方について規定する。この規格では、試験材料の取扱い及び成形前の試験材料と試験前の試験片の状態調節について規定する。

この規格は、試験片を作る手順と条件、及び成形された試験片を用いて、その材料の諸性質を測定する手順を示す。成形用及び押出用耐衝撃性ポリスチレン材料の特徴を知るための適切、かつ、必要な諸性質の試験方法を表に示す。

諸性質は、JIS K 7140に規定する一般的試験方法から選んだ。これら成形用及び押出用材料に対して広範囲に使われている試験方法及び特殊で重要な他の試験方法、並びにJIS K 6926-1に規定する区分用の性質も、この規格に含む。

再現性があり、他と比較できる試験結果を得るためには、ここに規定する試験片の作り方、状態調節方法、試験片寸法及び試験手順を採用する。

寸法の異なる試験片及び異なった手順で得られた試験結果は、必ずしも一致するとは限らない。

附属書(規定)は、2001年3月31日まで適用する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年(又は発行年)を付記してあるものは、その年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

JIS C 2134 : 1996 湿潤状態での固体電気絶縁材料の比較トラッキング指数及び保証トラッキング指数を決定する試験方法

備考 IEC 112 : 1979, Method for determining comparative and the proof tracking indices of solid insulating materials under moist conditionsが、この規格と一致している。

JIS K 6926-1 : 1997 プラスチック—耐衝撃性ポリスチレン(PS-I)成形用及び押出用材料—第1部：呼び方

備考 ISO 2897-1 : 1990, Plastics—Impact-resistant polystyrene (PS-I) moulding and extrusion materials—Part 1 : Designation system and basis for specificationsが、この規格と一致している。

JIS K 7111 : 1996 プラスチック—シャルピー衝撃強さの試験方法